

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第11回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

3 開催日時

令和5年1月20日（金） 午後6時30分から午後7時20分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：片田和夫、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、高橋武弘

宮崎雅彦（副会長）山岸優子、横田英昭（欠席6人）

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

8 発言の内容

【小池係長】

・有坂会長、植木委員、金子委員、佐藤力委員、清水委員、平原委員を除く8人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により議長は会長が務めるとあるが、本日は有坂会長が欠席のため、地方自治法第202条の6第5項の規定により副会長が職務を代理することを報告

【宮崎副会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：高橋委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める

【滝澤センター長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【宮崎副会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし

— 次第3 議題（1）地域活性化の方向性について —

【宮崎副会長】

次第3 議題（1）地域活性化の方向性について に入る。

前回の会議では、「地域活性化の方向性」の下段の「構成要素」から決めていくこととするとともに、後日、各委員より「地域活性化の方向性」の案を改めて提出いただいた。

事務局より説明を求める。

【小池係長】

- ・資料について下記のとおり説明
- ・資料No.1…前回の地域協議会後に、委員より改めてご提出いただいた「地域活性化の方向性」の案を委員名簿順に表記したもの
- ・資料No.2…資料No.1の「地域活性化の方向性」の構成要素をカテゴリー別に整理し、件数の多いカテゴリーから順に並べたもの。表中の出典No.は、資料No.1のNo.1～7のどの構成要素かを示している

【宮崎副会長】

本日出席の委員で、資料No.1に案が載っている委員より、補足を含めて説明を求めたいと思う。

まず、資料No.1の左側の案から順に補足を含めて説明願う。

【草間委員】

No.1の案は私が提出したものになる。

見出しは記載されているようにまとめた。「豊かな歴史文化遺産、駅」については、個々の名前をあげるのであれば、皆、承知のことになるかと思う。そして、「心豊かに暮らせる地域を目指します」ということで、それをいかに生かしていくのかということを考えながら、皆が生活しやすいところを作っていくことができればよいとの考えから、このような見出しを考えた。

次に、構成要素としては、当然、文化遺産、市の施設、その他の施設も入るが、そういったところを利用するようにしていきたいと思うので、そういったものを「手作りマップ」等を作成して、和田区にどういったものがあるのかということ、まずは地域住民から知っていただく。

また、駅等に置くことによって、旅に来られた人達にも、どういったところに行けば何がある、ということを知っていただくようなことを考えている。

次に、『上越妙高』駅を生かした、地域の振興」ということで、これはこれからいろいろと考えていかなければならないと思うが、具体的なものはまだ、個々には考えていない。他の委員の意見を参考にしていきたいという気持ちである。

次に、「商業、企業、住宅、農地の団地計画」については、区分的にどういったものがどの辺にできるとよいのか、ということ個々に考えていくことができればよいと思っている。それを地域協議会だけで考えるのではなく、できれば市にも働きかけたいと考えている。

そして、人が増えるという中で、リーダーになるような人材の育成というものを、当然考えていくことによって、いろいろなことができてくると思う。子どもの頃から部活等のいろいろな活動をするによって、人を育てていくような地域づくりをしていくことができればよいと考えた。

何をすればよいのかについては、基本的には挨拶から始まるわけだが、そういったところも考えていくことができればと思っている。

【宮崎副会長】

すべての補足説明終了後に、質疑を求めたいと思う。

次にNo.2の案について、説明を求める。

【佐藤勝雄委員】

見出しは、和田区は何ととっても、北陸新幹線の玄関口ということで、ここを起点としていろいろなPRを活性化していきたいと思った。

次に、「構成要素」にある、「釜蓋・吹上遺跡」「上越妙高駅周辺」「地場産野菜」「ローカル5G」については、これまでも地域協議会で検討してきた事項である。

駅周辺を見回すと、今泉スポーツ広場、野球場、サッカー場があり、非常に恵まれた運動施設があり、これらを大いにPRして、上越市、並びにもう少し広範囲に大会を誘致することができればよいと思った。

以前の会議で「黒田城」について話をしたが、繰り返しになるが、非常に眺望のよいところであるので、市民向けに登山をPRしていくことができればよいと思っている。

【宮崎副会長】

No.3の案について、説明を求める。

【篠原委員】

見出しとしては、「上越妙高駅」と「釜蓋遺跡公園の芝生広場」を挙げた。追加するものとしては、構成要素で、私も「マップ作り」を入れたいと思う。その下の「高齢者や身体の不自由な方が安心して暮らせる」というところでは、例えば、「グループホーム等を誘致する」ということを挙げたいと思う。

【宮崎副会長】

No.4の案を出した委員は、本日欠席である。

No.5の案を出したのは私である。各委員が出した構成要素の案もあるが、他区の「地域活性化の方向性」を見ていると、大体一行程度で簡潔である。それを踏まえて「構成要素」としては、記載の六つを挙げた。見出しも資料に記載のように考えた。これでも長いと思った。短いほうが入ってくると思ったので、記載のような文章とした。

次にNo.6の案について、説明を求める。

【山岸委員】

私も和田区の中で、他のところにはないものという、やはり「新幹線が停車する」ということだと思った。住んでいる住民と新幹線を利用して来てくれる人達が、表

現はおかしいかもしれないが、わくわくというか、何かしら希望が持てる、素晴らしいところだと思えることができる魅力的な地域を目指すというのではないかと考えた。

「構成要素」は他の委員の案と同じであるが、釜蓋・吹上遺跡の情報の発信、あとは、新幹線やえちごトキめき鉄道の駅もあるので、それらを利用して、いろいろな人達から和田区に来てほしいと思った。また和田区の人たちも他の地域に行って、またいろいろな情報を得てくることのできるのではないかと考えた。

そして、駅の中に「脇野田通り」がある。今もそこで販売している人はいるが、そこで地元野菜等を販売してはどうかと思った。そして、駅周辺でイベントを開催したらどうかと思った。

また、妙高山が綺麗に見えるので、眺めながらゆっくりと歩いて、その素晴らしさをいろいろな人と共有できるとよいと思った。

あとは安心・安全ということで、皆が安心・安全に暮らせることを考えるとよいのではないかと考えた。

【宮崎副会長】

最後、7番目の案について、説明を求める。

【横田委員】

私は提出が遅くなり、見出しは作っていない。構成要素として出した一つは、観光客が来てくれて、上越妙高駅周辺に出てもらおうというイメージがある。また、ここに住んでくれる人はいないのかなということで、現状のようなものを記入した。上越、妙高の玄関口となっており、要するに和田区へ来ると、メイドイン上越というか、お菓子や野菜でもそうなのかもしれないが、そういったものがあるということである。

次に、三つ目の「暮らしやすく希望のあるまち」については、変ないい方になってしまうかもしれないが、特に目立ったような騒ぎもなく、交通量も少ないということは、ある意味魅力なのかと思った。例えば、「駅に酔っ払いが少なくてよい」といったことも、私は魅力なのではないかと思っている。

四つ目の「地域の力となる人材育成」については、例えば、駅を考えたときに、

近くに大和保育園や大和小学校、少し行くと中学校もあるということを使った。

また、他の委員からも意見が出ていたが、釜蓋遺跡の公園や交流施設があり、子ども達の勉強の場になるのではないかとということで、「人材育成」と記入した。

【宮崎副会長】

- ・これまでの説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし

前回の会議では、「地域活性化の方向性」の下段から決めていくこととした。

資料No.2では資料No.1の「構成要素」をカテゴリーで整理し、多いものから順番に記載している。まずはカテゴリーから決めていきたいと思う。他区の地域協議会の例を見ても、カテゴリーの数は五つから六つ程度がよいと思っている。

- ・カテゴリーについて、意見を求めるがなし

思ったことであるが、7人の委員より意見が出され、カテゴリーとしては全部で11ある。

この中から五つか六つくらいを選ぶということになると、これは私案なので、よいか否かは改めて判断いただきたいが、一つ目の「上越妙高駅等を主体とした考え方」が六件、二つ目の「吹上・釜蓋遺跡等の歴史文化遺産の活用」も同じく六件、三つ目の「人材育成、交流」と「イベント」が五件である。この辺くらいまでは、入れても反論はないように思う。

また、五つ目の「安全な暮らし」と「自然、景観」もそれぞれ四件であり、ちょうどカテゴリーが六件になる。この六件の他に、例えば「農業、食べ物」が三件であり次点でつながっているなので、どこかに含めてもよいと思う。

その他の「情報通信」や「地域の宝」等については、件数の多かった、例えば、「安全な暮らし」や歴史文化の中に入れようと思えば入れることはできるので、そういった考え方も一つの考え方ではないかと思う。

これは、私なりのたたき台を出したつもりである。その辺でどうか。横田委員、何か意見等あるか。

【横田委員】

件数の多かったものが、当然入ってくるのだと思う。無理に統合していくと、かえって分かりずらくなってしまいうようにも思う。カテゴリーに記載されている上か

ら順番に、「自然、景観」くらいまでで整理した方がよいと思う。

【宮崎副会長】

佐藤勝雄委員、どうか。

【佐藤勝雄委員】

今ほど宮崎副会長が言われたように、やはり件数の多い項目から選んでいけばよいと思う。皆の意見が件数に集約されているので、宮崎副会長の意見に賛成である。

【宮崎副会長】

草間委員、何か意見等あるか。

【草間委員】

イベントのことであるが、皆がどのようなイベントを考えているのか、ということが一つある。上越妙高駅周辺で現在あるイベントで考えると、文化行政課が担当する釜蓋遺跡のいろいろな教室等、そういったものはイベントとして行われているわけだが、そういったものとは別で新たに何かイベントを考えるということか。まだ、そこまでは考えなくてもよいのか。それとも、项目的に挙げておくだけでよいのかが分からない。

【宮崎副会長】

他の委員、今ほどの意見について、どう思うか。

片田委員、何か意見等あるか。

【片田委員】

資料を見ると、「上越妙高駅で何々する」など、駅の近辺でイベントをするとある。また、「農業、食べ物」については三件であり、構成要素としては「地場産野菜の販売」「地元の野菜などの販売」とあり、これは「イベント」の中に全てまとめることができるように思う。これらを総合的に「イベント」の中に含めることができれば、「おいしい食べ物」「地場産野菜、穀物の販売」等に組み込めるのではないかと思った。

【宮崎副会長】

私も個人的に、「農業、食べ物」をどこかに入れたいと思っていた。「イベント」か「自然、景観」のどちらかであろうと思っていた。

では、「農業、食べ物」までのカテゴリーを入れた七件の中で、六つにまとめるような感じでよいか。

篠原委員、どうか。

【篠原委員】

よいと思う。それと同じような考え方で、「地域の宝」も「吹上、釜蓋遺跡等の歴史文化遺産の活用」のところに入れてもよいのではないかと思う。「情報通信」は私も記載しなかったが、今後はかなり重要になってくると思うので、どこかに入れることはできないかと思う。

【宮崎副会長】

「情報通信」を入れるとすると、「上越妙高駅等を主体とした考え方」か「人材育成、交流」のどちらかだと思う。

高橋委員、これまでの話を聞いて、何か発言等あるか。

【高橋委員】

これまでの内容で、私が今まで考えてきたこととそれほど大きな差が出ていないので、これでよいと思っている。確かに細々した部分で「追加でこれを入れてはどうか」といった話もあったし、そういったことも気持ちとしては賛成である。

【宮崎副会長】

山岸委員、何か意見等あるか。

【山岸委員】

私もカテゴリーの件数が多かったものから決めてよいと思う。上から六件くらいで、あとは他のもので同じような感じで入れられるところがあれば、入れてよいと思う。

【宮崎副会長】

では、カテゴリーは「上越妙高駅等を主体とした考え方」「吹上・釜蓋遺跡等の歴史文化遺産の活用」「人材育成、交流」「イベント」「安心な暮らし」「自然、景観」の六件として、難しいかもしれないが、その中に「農業、食べ物」「情報通信」「地域の宝」を振り分けていく感じとしてよいか。

・委員の承諾を得る。

次に、カテゴリーごとに具体的な「構成要素」について、こういった表現がよいかについて考えていきたいと思う。本来であれば、1カテゴリーごとに決めていかなければならないが、この中ですぐ決めることは少し無理があると私は思っている。11あるカテゴリーの中で少し整理をし、各自より考えてもらったほうがよいと思う。例えば、「上越妙高駅等を主体とした考え方」で、「上越妙高駅」「新幹線」「高速インター」は外せないと思う。それ以外で、何か外せないもの等あるか。その他の案として、「魅力ある」「海・山へ交通の便は抜群」といったものもあるが、あまり書いてしまうと、とも思う。例えば、正副会長と事務局で案をまとめ、その正副会長（案）を次回の会議で示すことがよいのではと考えている。

佐藤勝雄委員、何か意見等あるか。

【佐藤勝雄委員】

皆でこのカテゴリーを選んできたので、この中から多数決で決めればよいと思う。

【宮崎副会長】

私が言っているのは、表現の問題だけである。カテゴリーは決まったので、こういった言葉にするのか、というだけである。単純にこの中のどの言葉を選ぶのか、というだけであるが、個々の思いもあるので、正副会長案を示してはどうかと考えた。

【佐藤勝雄委員】

この中から選ばないということか。新たに言葉をつぎ足しながら決めるということか。

【宮崎副会長】

この中から選ぶ。これを参考にしながら、少し文言の整理等も必要だと思う。ここですぐに決定するというよりは、たたき台を作って示すということである。ここから全体的に大きく外れることはない。

【佐藤勝雄委員】

どれだけの時間がかかるのか。

【宮崎副会長】

本日はカテゴリーを決めるところで終わりとし、あとは正副会長と事務局で少し

整理をし、それを委員に示して終わりとなる。

【佐藤勝雄委員】

そこで揉まないのか。

【宮崎副会長】

その前に揉む。正副会長案を示したときに揉めばよいと思う。

【佐藤勝雄委員】

それでよい。

【宮崎副会長】

佐藤勝雄委員の思う入れてほしいことや、外してはいけないと思うもの等があれば、この場で言っていただければと思う。

【佐藤勝雄委員】

カテゴリーの一番上に記載されている、「上越妙高駅等を主体とした考え方」の六つの構成要素の中から多数決で選び、あとはそれに対する委員の意見を聞いて決めてしまえばよいと思う。

【宮崎副会長】

だが、単純に多数決で決めてしまえばよい、というものでもないと思う。いろいろな整合性があったほうが、私はよいと思っている。少数意見であってもよい意見もあると思う。そのカテゴリーには六つの構成要素が記載されているが、その中に他の「農業、食べ物」や「情報通信」等のカテゴリーも含めていかなければならない。それらをどのように入れるのか、考えなければならない。

【佐藤勝雄委員】

例えば、上越妙高駅を起点とした見出しとすると、構成要素のNo.4の、「新幹線駅、在来線駅、高速インターチェンジ等の交通の利便性の高さを活かした地域振興」に少し肉付けをすればよいと思う。皆が賛同するかは分からないが。

【宮崎副会長】

そこが、私と佐藤勝雄委員の考え方の違うところなのである。これは本日欠席の委員が出した意見であり、確かに内容がすごく分かりやすいが、他の自治区を見ると、文章が半分くらいで終わっている。

そのため、ここまでしてしまうと何だか文章が多くなり、何を言いたいのか分からなくなってしまうような気がする。確かに、よく分かるかもしれないが、長々と文章を書けばよいということでもない。教育大綱にも今までにないような簡単な1、2行の言葉で作られたものがあるので、ここは簡単に、例えば「新幹線新駅と高速道路の活用」くらいとすることもよいかと思う。そこは全体で話し合い、「和田区ではもっと細かく書いた方が分かりやすい」という意見があれば、そこは委員からの意見であるのでよいと思う。それについてだけ決めればよいかと思うが、どうか。そこは大事だと思う。

【佐藤勝雄委員】

事務局に確認である。文字数にルールはあるのか。全体を通すとやはり短めだという、宮崎副会長の発言のとおりなのか。長くても、皆が聞いて読んでも理解でき、分かりやすければ、決して短くする必要もないように思う。

【小池係長】

「地域活性化の方向性」については、見出しがあり、五つから六つくらいの構成要素がある形の中で、他の13区を中心として、既に完成したものがある。参考として前回の会議等で配布しているが、特に字数等の決まりはない。そこは本当に簡潔に字数の短いものもあれば、区によっては長い文章の構成要素もある。そこは各地域協議会で話し合う中で、詰めていく部分だと思う。

【佐藤勝雄委員】

承知した。それを参考にして、正副会長が選んで肉付けをし、我々委員が改めて話し合うということよ。

【宮崎副会長】

今ほど、そのような話があったが、私としては正副会長で素案を作るのであれば、文章は短めというか、それほど長くせずに考えようと思っている。それについては委員の意見を確認し、決めていきたいと思う。

横田委員より順に確認したい。

【横田委員】

まだ私もよく理解していないが、提出を求められたのが、「見出し」と「それを構

成する要素」ということで、前回の地域協議会の時に「見出し」と「構成要素」のどちらを先に作るのか、話し合ったように記憶している。資料No.1のNo.7の案は私の提出したものであり、見出しは記載せずに提出している。要は、「構成している要素はこういうものがある」という話をして、その中で見出しを考えていき、できていくものだと思っていた。

【宮崎副会長】

私が聞きたかったことは、字数の制限はないのだが、簡潔というか、大まかにいうのか、細かくいうのか、ということである。細かくいうと、「地域の方向性」等は長くなってしまい、かえって見にくくなるのではないか、という意見もある。そのため、他の区では大体短くオーソドックスにしているように思う。文章が長いと読む気もしなくなり、嫌になってしまうということもあると思っただけである。だが逆に、「和田区では丁寧に説明をする」という意見もあると思う。それは地域協議会委員が決めることだと思っている。それについては、本日出席の委員で決めてよいと思っている。

【横田委員】

今ほどの宮崎副会長の話と全く同じであるが、見出しの細かいところは構成要素として表されているのだと思うので、簡潔に作っていただければよいかと思う。

【宮崎副会長】

次に山岸委員より発言願う。

【山岸委員】

私も、構成要素の中にはいろいろと書いてあるので、見出しは短くてもよいかと思う。

【宮崎副会長】

次に高橋委員より発言願う。

【高橋委員】

私も簡潔という意見に賛成である。

【宮崎副会長】

次に篠原委員より発言願う。

【篠原委員】

まず、「たたき台」というところからしなければ前には進まないと思う。できることであれば簡潔に、正副会長よりたたき台を作っていただきたいと思う。

【宮崎副会長】

次に草間委員より発言願う。

【草間委員】

見出しはある程度の要素が入らなければいけないと思うので、それなりに長くてもよいと思う。構成要素については、簡素でよいと思う。ただし、簡潔にした分を別紙で説明をつけることがよいと思う。

【宮崎副会長】

次に片田委員より発言願う。

【片田委員】

各地区から出た「地域活性化の方向性」を見ると、やはり、それぞれの特徴が出ている。例えば、牧区は「どぶろく」や「ぜんまい」とある。頸城区では「大池」が出ている。各地域の特徴が構成要素の中に出ている。そうすると、和田区の構成要素として外せないものは、「上越妙高駅」「吹上・釜蓋遺跡」といったものが入ってくると思う。そういったものを入れて、五つか六つの構成要素を短く作ることでよいと思う。

【宮崎副会長】

構成要素は「簡潔に」という意見が多かったので、そのようにしたいと思う。見出しについては、「長め」という意見もあった。また、別紙を付けるということも意見として伺ったので、それを参考にしながら、正副会長と事務局でたたき台を作り、次回の会議で正副会長の素案を示し、そこで改めて協議したいと思うがよいか。

- ・委員の承諾を得る。

以上で次第3 議題（1）地域活性化の方向性について を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【宮崎副会長】

次第4 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

第12回地域協議会：2月15日（水）18：30から ラーバンセンター
3月の定例会、例年行っている活動報告会は休会をお願いしたいと考えている。理由として、地域独自の予算が5年度予算から始まって、この3月議会で予算が審議される。事務局としても新しい業務ということで、その議会对応が新たに生ずることから、地域協議会の当日以外も事前協議や資料の発送など、そういったものを経た中で地域協議会を開催しているが、そういった部分の時間がとれないという見込みであることから、このようにお願いするものである。これについては、南部まちづくりセンターでは和田区以外で三区所管しているが、こちらの方でも同様に休会ということでお願いをする予定である。

- ・その他配布物

和田区地域協議会だより 第52号

ウィズじょうえつからのおたより

【宮崎副会長】

- ・3月の定例会、例年行っている活動報告会は、共に行わないこととしてよいかを諮り、承諾を得る
- ・その他に質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。